

# さの高典 県議会報告

VOL 38 平成22年1月 発行 佐野高典事務所 077-572-1375

## 寒中お見舞い申し上げます

輝かしい新春をご家族お揃いで迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年夏には衆議院議員選挙が行われ滋賀県選挙区は「政権交代」の波にのまれ全選挙区で敗れました。

鳩山内閣が発足し国民の期待を集めておりましたが、国の根幹にかかる外交・防衛や安全保障さらには「二番底」と言われる景気状況を打破するべき経済政策などタイムリーな政策が打ち出せず、この国の方向性の定まらない現状に国民の不安は高まるばかりでありません。

年が明け愈々新年度予算の編成方針の説明が始まります。国家予算は政府案が決定されましたが、従来のように地方に対して内示等が伝わらず執行部は苦慮されているようでありませぬ。

本県におきましても、法人二税を中心とする税収の落ち込みなどから県内景気の回復を目指す政策や少子高齢化に対応する予算、福祉や教育、さらには活力ある県土づくりに対応する予算など県民ニーズは多岐にわたっており厳しい財政の中、知恵を絞り県民の期待に応えなければなりません。私も平成十一年に県議会議員

に当選をさせて頂き早や一〇年が経過を致しました。昨年、全国議長会の自治功労表彰を頂きました。

心新たに県政の発展を目指し邁進を致す所存であります。本年も変わらぬご指導とご鞭撻の程お願い申し上げます。



10年の自治功労表彰の皆さんと記念写真

### 11月定例議会の主な議案

- ・平成21年度補正予算 約115億円の補正
- ・滋賀県食の安全・安心推進条例
- ・新幹線新駅地域振興等基金条例
- ・地域医療再生臨時特例基金条例
- ・医療施設耐震化臨時特例基金条例
- ・滋賀会館の設置および管理に関する条例を廃止する条例案・・・(継続審議)
- ・環境総合計画の改定につき議決を求めること など

## マザーレーク21計画

### 琵琶湖主義の実践

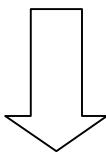
マザーレーク21計画(琵琶湖総合保全整備計画)は、昭和47年から25年間かけた琵琶湖総合開発後、琵琶湖の総合保全に係る旧6省庁による「琵琶湖の総合的な保全のための計画調査」を踏まえて、県民の皆さんが参画して碧い琵琶湖を次世代に引き継ぐための指針として、平成12年3月に策定されました。

私が平成11年県議会議員に当選をさせて頂いた最初の議会において「ポスト琵琶湖」について質問した後にこの計画が策定されました。

「琵琶湖主義」を掲げる私にとって琵琶湖の総合保全は最大の政治課題であり、健全な琵琶湖を次の世代に引き継ぐため最大の努力を傾注いたします。

### 琵琶湖流域の総合保全 第二期目標

- ・水質保全 昭和40年代の水質
- ・水源涵養 森林、農地、自然の水循環利用
- ・自然的環境・景観保全



### あるべき姿 2050年

- 水質保全 昭和30年代の水質
- 水源かん養
- 自然の水環境を生かす淡海の森と暮らし
- 自然的環境・景観保全
- 湖の環境を守る豊かな自然生態系のなかで、多様な生物の営みによる美しい琵琶湖



滋賀県議会議員

県政・市政のご相談は **佐野高典** にお寄せ下さい

Member of **SANO**  
SHIGA takanori  
Prefectural  
Assennbly

# 県議さの高典の活動から。。。

## 農地保全を目指し知事に要望！



大津市北部の中山間地域の圃場は、急傾斜による農作業の困難さや鳥獣被害による収穫量の減少などで苦勞されていますが、農地の保全のため頑張っておられます。

新年度予算編成の見直しのなか「知事特認制度」ものの廃止が打ち出されました。

く関係集落の皆さんと予算復活のため嘉田知事に陳情をいたしました

## 西大津B P・湖西道路四車線化を目指して

無料開放と同時に西大津B Pや湖西道路は朝夕のラッシュ時や土日や祭日は慢性渋滞の状況であります。

国土交通省は渋滞緩和のため湖西道路・西大津B Pの四車線化を目指し工事が進められています。

湖西道路から志賀B Pへの延長工事も順調に進捗されていますが、供用開始は平成24年頃の予定です。



## 地域の皆さんと共に・・・

秋の体育祭は各学区で盛大に行われます。10月の第2日曜日は大津市北部のほとんどの学区で一斉に行われ、私もそれぞれの学区の体育祭に参加させて頂いています。

それぞれに特徴があり楽しい一日を過ごさせて頂いています。

かつてはチームを代表してリレーなどの選手を務めました。今は来賓レースに参加することがせきのやまです。



## 大津市農業まつりに参加

秋の取り入れが終わり、秋野菜が豊富にとれる頃農業まつりが開催されます。

生産者は自慢の品を消費者は安心して食べられる食材を求めてまさに「地産・地消費」の実践です。



## コスモスが咲きました



昨年秋、真野学区恒例の「コスモス祭」が行われました。例年実行委員会の皆さんが丹精込めて栽培され、秋には綺麗なコスモスを見せて頂きます。

同時に当日は各種団体の協力による模擬店や新米、秋野菜などが出店され多くの皆さんが参加されます。

秋晴れのなか子供たちも楽しそうに遊んでいました。



## 外来魚処理場の視察

琵琶湖では外来魚の駆除を年間400トンを目標に捕獲しています。

限りなくゼロを目指し駆除しているところではありますが、繁殖力の強い外来魚をゼロにすることは並大抵のことではありません。

しかし、ようやくフナやモロコが回復傾向の見えだした昨今手を緩めることはできません。生態系の保全のため頑張ろう！



## 〇〇〇 最近の政治について 〇〇〇

『藤原正彦さんの「官見妄語」というコラムに自民党もそうだったが、政権にいたった民主党も「国民の目線に立つて政治を行う」と言う。

各政党もそういうが、国民の目線に立つことが民主主義の本質と云うことだろう。もし本質だとしたら民主主義とは悪い政治である。

政治が国民の目線に立つたら国は滅んでしまふ。国民の判断力は古今東西常に低く、また、その意見は気まぐれだからだ。

国民目線とは国民の平均値で国を運営するにはあまりにも危ない。外交、軍事だって「皆んな仲良く」では成り立たない。

平均値とかけ離れた歴史観、人間観、世界観、時には高度の権謀術数までが必要となる。

経済だってパラマキを言んでいるような国民には口出しする資格すらない。(中略)

政治とは国民の深い悩みやそこはかかない不安などを洞察し、それらに機敏に手を打ち、大局感に立つて人類の平和を希求し国家と国民を安寧に導くことである。どこもかしこも国民の目線に立つ政治家ばかり、というのは国民の一代不幸と言つて良い。』と述べられておられます。

全てがその通りだとは思いませんが、鳩山政権に最も当てはまる思いが致します。

三党連立内閣という側面はありますが、どの政党にも顔がたつようと配慮するあまり政策の形成に時間ばかりが費やされ、スピーディーに物事が進まない状況であります。普天間基地の問題ひとつをとってみてもオバマ大統領来日の折には「トラストミー」「私を信じて欲しい、時間をかけることは混乱するだけだ」と言つたかと思えば翌日には翻る。具体的な場所についても国外が県外か、日米合意の約束などはどこ吹く風のようにあります。

安全保障や外交は国の専権事項であります。しかし、決まらない。

これではアメリカにソッポを向かれるのも当然であります。補正

予算においても財源がないのに

パラマキではこの国の将来が不安でなりません。国の指針は総理

なのか幹事長なのか迷うばかりであります。

## お知らせ

さの高典ホームページに掲載しております「TAKANORIの一言」も継続を致しますが、昨年末ブログを開設致しました。ご一読を頂きご示唆頂ければ幸甚に存じます。